



— 熊本天草幹線道路「宇土三角道路」中心杭打ち式 — 待望の事業化 本格測量へ

2/12 宇土三角道路の中心杭打ち式が三角防災拠点センターで開催され、関係者約60人が出席しました。宇土三角道路は、熊本天草幹線道路の一部で宇土市上綱田町から宇城市三角町の間13.5キロメートル。渋滞緩和や、災害時の救援・輸送など地元から強く要望されていました。本年度中に測量に着手し、その後、地質調査や住

① 金子恭之総務大臣の呼び掛けで記念撮影 ② 事業概要のパネル展示 ③ あいさつする守田市長 ④ 測量に当り道路計画線を中心となる杭打ちの儀式 ⑤ 蒲島郁夫県知事 ⑥ 金子総務大臣も出席

民への説明などが行われる予定です。守田市長は「宇城市としては世界文化遺産である三角西港を核に、観光振興や物流、災害時の安全・安心を背景とした定住の促進など、この路線が地域振興の起爆剤となり、沿線自治体との連携がこれまで以上に深まるものと大いに期待しています。」とあいさつしました。



展示棚のカギを渡す小川工高3年の本郷葵土さん(中央)

— 小川工高が宇城地域振興局展示棚を作成 — 宇城地域の特産品PRに一役

1/26 宇城地域振興局(真田由紀子局長)で地元の特産品を展示する展示棚の引き渡し式が開催されました。式には振興局の依頼で棚を設計・製作した小川工業高校(前田茂雅校長)建築科の3年生8人が参加。生徒を代表して平川祥大さんが「課題研究の時間を活用し一生懸命に作りました。大事に使ってください。」と述べました。



薬師田さん(背番号6 MF)、森田さん(背番号10 MF)

— 小川中出身森田さんと薬師田さんが市役所訪問 — 大津高校サッカー部 全国準優勝を報告

1/21 全国高校サッカー大会で準優勝した大津高校サッカー部のキャプテン森田大智さんと薬師田澁さんが市役所を訪れ、守田市長に結果を報告しました。二人は「悔しい気持ちは残りましたがベスト8の壁を破り国立競技場の舞台上に立てたことは一生の財産です。大学進学後はプロを目指していきます。」と今後の健闘を誓いました。

市ホームページには、
たくさんの写真と詳しい
内容を掲載しています。



ま ち の わ だ い TOPICS



「まろやかな味」「昆布はお酒に合いそう」など高評価

— 熊本食文化研究会がショウガ加工品の試食会 — 地元特産品の商品化を目指す

1/7 小川町の「風の館 塩屋」でショウガを使った佃煮の試食会がありました。同町の女性農業者らでつくる熊本食文化研究会(飯田真志子代表)の企画で、昨年7月から試作を重ね、「黒糖」「きざみ」「昆布」の3種類に仕上げたもの。飯田代表は「今年中の商品化を目指したい。これからも農産物の活用を図っていきます。」と意気込みを語りました。



市の代表としてよく戦い、うれしい結果を報告

— 第42回九州小学生親善ハンドボール大会優勝 — 当尾ハンドボールクラブ 九州大会制覇

1/6 当尾ハンドボールクラブの8人が市役所を訪れ、昨年12月に行われた大会での優勝を守田憲史市長に報告しました。キャプテンの樹本望愛さん(6年)は「決勝は強い大分のチームとの対戦でしたが、コーチの分析のおかげで速攻が決まり勢いに乗れました。皆さんの応援で優勝することができました。」と試合を振り返りました。



宇城市が施設を提供しチームを支援

— フォレストリーヴズ熊本と連携協定 — スポーツを通じたまちづくりを

1/21 市は、バレーボールV2リーグに所属するフォレストリーヴズ熊本と連携協定を結びました。市役所で行われた調印式では、選手たちが見守る中、中島裕二監督と守田市長が協定書に署名。今後、週末を中心に、旧豊野小学校体育館などが同チームの練習拠点として活用され、共にバレーボールを通じた地域活性化に取り組みます。



神社の清掃を行った地域の皆さん

— 三角町東港一区が馬立金刀比羅神社を再生 — 神社を地域活性化の拠点に

1/15 三角町の東港1区(太田重雄区長)の老人会と地元の有志の13人が、馬立金刀比羅神社の清掃活動を実施。同神社は海の安全を祈願し建立され、馬立地区で管理されてきました。太田区長は「三角西港と関わりが深く明治ロマンあふれる神社を活性化の拠点に、住民の力を合わせ、地域ににぎわいを取り戻したい。」と思いを語りました。